

飛翔

発行責任者
平塚MAC
池田 忠宏



会 古代律令社会と平塚 学 習 古代相模国府は平塚に

完璧な感染対策で

今年度初の学習会

令和2年度、コロナ禍で活動を制限されていた中で、今年度初めての学習会が12月17日午前10時から11時45分の間、表記の演題により平塚市博物館で館長栗山雄揮氏にご講演をお願いしました。参加者は23名でした。



コロナの感染を防ぐため、博物館のご協力を得て、定員の半分以下の着席など「三蜜」対策やマスクの着用、検温、窓開け、終了後の机の消毒などを実施しました。

講演内容は、大和地方における豪族の支配から、天皇を中心とする律令制度による中央集権の統一国家が出来ていく中で、「平塚」ではどのようなことが起きていたかという大変興味深いものでした。

律令統治の形と支配

律令統治の形は、道・国・郡郷で、国は規模により大國・上國・中國・下國に分けられ、中央からの距離により畿内・近國・遠國に分かれていました。

国には中央から四等官制の国司

(守)かみ(長官)、介(すけ)次長(掾)じょう(係長)が国府にある国庁に派遣され、地方豪族の郡司を使い支配しました。「平塚」は東海道の上方であり、遠國の相模國の大住郡にありました。

相模国府は平塚に

相模国府の所在地は平塚市、海老名市、小田原市、大磯町など長年論争になっていましたが、平成16年4月ノ宮地区の湘南新道建設に伴う発掘調査で国庁脇殿跡が発掘され、墨書土器、大量の緑釉陶器等遺物や、周辺には多数の建物跡が発掘され都市圏が構成されていたことから、相模国府が

平塚市にあったことが確定的になりました。

東中原に古代道の遺跡

東中原の「西友」建設時に古代東海道の遺跡が発掘されました。古代道は通信・輸送のために整備され、幅員は9から12mで、公用便は16Kmごとの馬屋で、緊急度に合わせて10区間、8区間、6区間の乗り継

中村 輝夫 記

ぎ伝送しました。また、庶民はこの道を通り、租庸調(税金)を都まで往路25日復路13日と、途中の宿泊は自己解決で運んでいきました。今回の講演で、古代律令時代の「平塚」を知り、改めてこの地に対して愛着を感じることになりました。

仲間の声

文芸と戯れる

「コロナに打ち克つ」生活様式

コロナ禍における会員の思い・現況について伊藤さんより寄稿いただきました。

コロナ禍のニュースを聞くたび、過去の天然痘やコレラなど世界的大流行の歴史や、日本では江戸時代から明治時代に発生した感染症の再来を防ぐために立てられた、

五体地藏さま

コロナ禍防ぐ一文字の口』



感染 症の初期治療

村の出入り口の古道に今も残る道祖神へ小さいころ手を合わせた思い出がわいてくる。

一首 『ふる里の路傍に

彼らにも永遠の別れを悲し

当面のスケジュール	
3月1日(月)	パークゴルフの会
3月11日(木)	パソコン勉強会
3月15日(月)	パークゴルフの会
3月18日(木)	パソコン勉強会
3月26日(金)	アヒルの会
3月5日、12日、19日、26日(金)	囲碁を楽しむ会

会員往来

福持日出夫(フクモチヒデオ)さんが1月に入会されました。お住まいは高浜台です。

伊藤 孔三 記